

高齢者をねらった パソコンの「サポート詐欺」に「注意を

パソコンに偽のウイルス感染警告を表示させる「サポート詐欺」が、ここ数年増え続けています。被害者の大半は、パソコンやインターネットに不安を覚える70歳以上の高齢者です。どう対処したらよいのか、独立法人・国民生活センターなどの資料より紹介します。

不安にさせて 金銭をだましとる

川本良子さん(仮名) 75歳は、パソコンをひらきインターネットを開覧中、突然、見えていた画面が消え、「ウイルスに感染」「個人情報情報がハッカーに流される」などの表示や声とともに、大量のピーピーという警告音が鳴り響き、驚いたと言います。

音が鳴り響き、驚いたと言います。

「これを直すには、すぐお電話ください」との誘導にしたがい、表示された番号に連絡すると、男性が出て「こちらの連絡は初めてでですか?」とたどたどしい日本語で聞かれました。川本さんは、「その時点でおかしいと気づき、相手が執拗



「ウイルスに感染」とあおられても、冷静に対処を(写真は本文とは関係ありません)

に引き留めるのを振り払い、電話を切りました。パソコンにくだしい近所の人に助けを求め、事なきを得ましたが、今考えると正常な思考力を失っていた」と話します。

「サポート詐欺」とは、川本さんが話すとおり、パソコンの画面を突然フロックし警告画面を表示させ、利用者を不安にさせて金銭をだましとる手口です。

「今すぐ電話してください」と電話させ、偽のサポートに誘導。遠隔操作を許可させ、高額なサポート料金を支払わされます。

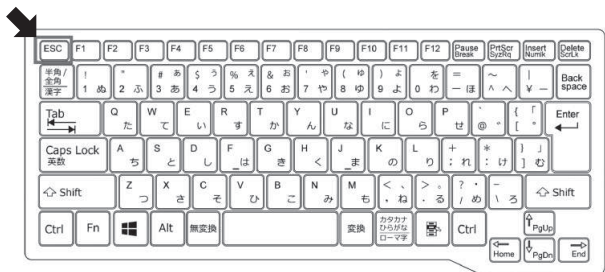
冷静になって
画面を閉じる

もしパソコンにこのような画面が出た場合、まずは画面に書かれている番号には絶対に電話をかけるなでください。落ち着いて警告画面を消すだけで対処できます。警告音がうるさい場合は、パソコンの音量を下げて、冷静になりましょう。

「サポート詐欺」の画面の消し方

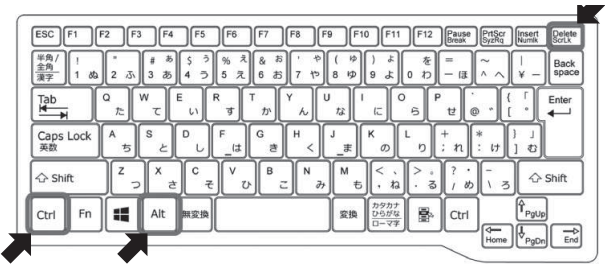
まず①を試してみて、消せなかったら②③とやってみましょう。

①キーボードのESCキーを3秒程長押しする



ESCキーを長押しすると、偽の警告画面がひと回り小さな表示となる。画面右上に「X」(閉じるボタン)が表示されたら、クリックする。

②【Ctrl】【Alt】【Delete】キーを同時に押す



3つのキーを同時に押し、画面右下の⏻(電源マーク)をクリックすると表示される選択肢から「再起動」を選ぶ。(再起動するとページの復元を促すメッセージが表示されることがある。その場合は、右上の「X」をクリック)

③電源ボタンを長押しして強制終了

最終手段として。保存していない作業は失われるが、安全を優先しましょう。

一人で悩まず相談を

不安に思った場合は、すぐに最寄りの消費生活センター等へ相談しましょう。

*消費者ホットライン「188(いやや!)」番
*警察相談専用電話「#9110」発信地を管轄する警察本部等の相談の総合窓口へ接続されます。

◆情報セキュリティ安心相談窓口
画面の消去方法等、パソコンに関する技術的な相談に対してアドバイスを求める場合は、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)の「情報セキュリティ安心相談窓口」へ
電話番号03-5978-7509 受付時間10:00~12:00、13:30~17:00
(土曜日曜祝日・年末年始は除く)メール: anshin@ipa.go.jp

祖母の英断で命拾い



今も各地に残るガマ(写真は浦添市で撮影)

(晴れ着)に着替えて出て行きました。荷物には、私のへその緒まで入れてありました。それが捕虜になった4月3日のことです。
近くに約100人が避難するナカオガマがあったのですが、誰も出ていかずガマの中で死んだと後から聞きました。ガマにいた大人によって生死を分けたことを思うと、学問は大事だねと思います。
何年前か、今は米軍基地内にあるガマをみんなで見学に行きました。集団死のあったナカオガマは埋められていましたが、私たちがいたガマは入って見ることができました。

母の歴史

聞き書き
沖縄県 外間久子さんのお話 (2)

3063

1945年3月26日、米軍が慶良間諸島に上陸、4月1日に沖縄島・読谷村に上陸し、「鉄の暴風」と称された地上戦が始まりました。祖母は首里師範学校を卒業し、とてもジンプナー(賢い人)で、みんなに信頼されていました。与那原町から北へ避難したのも、きっと実家に来ていた兵隊さんたちの話を聞いていたのだと思います。
私たちが避難した中城村では、大きなガマ(自然洞窟)に、安谷屋の部落の人たち100人近くが避難。その中に日本兵はいませんでした。米軍のハワイ出身の日系2世の人から、「アテコイ」と何度も呼びかけられ、祖母が率先して「殺されてもいいから」と、みんなでガマを出ることを決めました。私たちは死ぬんだからと、持たされていた荷物の中の赤い「ベベ」

ジェンダー平等と平和へ、時代を切りひらいた 平塚らいてうからのバトンを受け継ぐ

いま話題のパンフレット
平塚らいてうからのメッセージ
発行 新日本婦人の会

「平塚らいてう・女性運動資料室」
(東京都文京区・新婦人中央本部1階)
開館: 第2・第4火曜日 14:00~16:00
申込み: 1週間前までに FAX 03(3814)9441か
メール njwa@shinfujin.gr.jpで
氏名、人数、所属、電話を明記

「らいてうの家」
(長野県上田市真田町)
開館: 4/26~10/27の土日 10:30~16:00
団体は予約を/NPO法人平塚らいてうの会
FAX 03(3818)8626
メール raichou@nifty.com

オンライン企画のご案内

2025年日本平和大会プレ企画
自治体と教育現場で
強まる自衛官募集活動
そのねらいと手口
日時: 9月17日(水)
18時半~20時半
お話/有田崇浩さん
(ジャーナリスト・平和新聞前編集長)
●参加費 無料
●申し込みフォーム
https://x.gd/TOGbr
主催: 日本平和大会実行委員会

自然エネルギー連続講座 第3講
持続可能な地域経済づくりと
再生エネルギーの推進
活用できる国や地方自治体の補助制度など
日時: 9月24日(水)18時半~
講師: 藤田太裕さん
(地域計画建築研究所 研究員)
●参加費 800円/回
●申し込み 9月17日までに
energy-bukai@genpatsuzero-
osaka.comへ、
名前と電話番号を明記
主催: 原発ゼロの会・大阪

